

会 議 録

1 附属機関の会議の名称

水戸市上中妻市民センター運営審議会

2 開催日時

平成28年3月14日（月）午後1時30分から午後2時30分まで

3 開催場所

上中妻市民センター

4 出席した者の氏名

（1）委員

内田 秀泰，田畑 清子，飯村 正夫，本田 とも江，山崎 仁志

（2）執行機関

鈴木 克明，磯崎 恵

5 議題及びの公開・非公開の別

- | | |
|-------------------------------------|------|
| （1）平成27年度上中妻市民センター事業報告及び利用状況について | （公開） |
| （2）平成28年度上中妻市民センター運営方針及び努力目標（案）について | （公開） |
| （3）平成28年度上中妻市民センター事業計画（案）について | （公開） |
| （4）その他 | （公開） |

6 非公開の理由

7 傍聴人の数

なし

8 会議資料の名称

平成27年度第2回水戸市上中妻市民センター運営審議会

9 発言内容

- 執行機関 平成 27 年度第 2 回市民センター運営審議会の開会を宣する。
- ____会長 挨拶。
- 議事録署名人の選出。「____委員, ____委員」
- 議題の(1)へ入る旨を宣し、執行機関に説明を求める。
- 執行機関 議題(1)平成 27 年度上中妻市民センター事業報告及び利用状況について説明する。
- 議題(1)平成 27 年度上中妻市民センター事業報告及び利用状況について・・・の説明
- ・市民センター主催による事業報告(資料 1 ページ ア),
地区住民の会・市民センター共催による事業(資料 2 ページ イ),
地区高齢者クラブ連合会・市民センターの共催事業(資料 2 ページ ウ),
これらの各事業を、平成 26 年度と平成 27 年度別に、講座名や開催日、参加人数等を対
比した。
 - ・平成 27 年度の 4 月から本運営審議会開催日前月の 27 年 2 月までの利用状況を、利用団
体別、部屋別に集計した(資料 4 ページ)。
 - ・なお、平成 26 年度と平成 27 年度が比較しやすいように、平成 26 年度は、平成 26 年 2
月までの小計も計上した(資料 3 ページ)。
- ____議長 質疑に入る旨を宣する。
- ____委員 資料 1 ページの(幼児安全法学習会の)託児ボランティアをやられた方は、
上中妻の方か。
- 執行機関 上中妻の方もいらっしゃった。好文カレッジに相談したところ、(託児の)ボ
ランティアサークルがあり、そちらに所属メンバーがいるので市民センター
から近いところをお願いした。一人、地区内の方がいらっしゃったが、その
他は地区外の方で当日は、5 人のボランティアさんだった。
- ____委員 (お子さん) 4 人に対して 5 人?
- 執行機関 一人当日具合を悪くしたお子さんがいて欠席となり、ボランティアさんは向
かっていたのでそのままお子さんを見ていただいた。
- ____委員 謝礼はどれくらい払うのか。
- 執行機関 実際お支払いしたのは、図書カード 1,000 円。約 2 時間のお礼ということで
1,000 円相当ということでの対応をしている。
- ____委員 市民センターでやる場合は図書カードみたいなもので謝礼とするという流れ
なのか。
- 執行機関 現金ではなくて、若しくは商品券という場合もあるそうだが、今回は図書カ
ードで。
- ____議長 他に質問はないか諮り、異議なしの発言あり。(議長:承認の旨の発言)
- 引き続き議題(2)について、執行機関に説明を求める。
- 執行機関 議題(2)の平成 28 年度上中妻市民センター運営方針及び努力目標(案)につ
いて説明する。

議題（２）平成 28 年度上中妻市民センター運営方針及び努力目標(案)について・・・の説明

- ・市内にある市民センター全体の運営方針というものが出される。大体年度末に出されることが最近多いのだが、こちらを受けて新年度のそれぞれの市民センターの運営方針を立案する。今回、水戸市全体の運営方針と努力目標が事情によりまだ示されず、この会議の席では、平成 28 年度の運営方針と努力目標の案の文面を提示することが間に合わなかった。所長会議の中での新年度の取組の中で、市民センター生涯学習機能面の向上に努めることということが水戸市長からの指示事項で出ている。
- ・公民館から市民センターに組織機構が変わり数年経ってきているが、市民センターは公民館時代と比べて生涯学習面の機能がややおろそかになってきてはいないかというような声も聞かれる。こういったことを踏まえて、来年度の運営方針・努力目標の中には、生涯学習活動の推進に当たり、これらを少し膨らませていく必要が出てきている。生涯学習の推進の中で、全体的な努力目標を文面の中で生涯学習活動の部分に反映させて提案できるように、これからまとめていく（資料 5 ページ，6 ページ）。

____議長 質疑に入る旨を宣する。

____委員 確か昨年のもまだ運営方針が定まっていなくて遅らせたが、今回も同じか。

執行機関 はい。

____委員 中身は、生涯学習について力をもう少し入れましょうというところがまだ明確に示されていないということでよろしいか。

執行機関 はい。

____委員 立てられている行事に対して年齢層が決まっていると聞いたが、今回、幼児安全法学習会で託児所を設置したということだが、こういったことと合わせて、市民センターのほうで広く若い方たちに周知できるような提案があればいいなと思っていて、以前も言ったように回覧板は若い人たちに届いていない。そういったものの形を変えて、市民センターはこういうふうにご利用できますとか、若い人たちに対しても、サークル活動するに当たって、市民センターに依頼すればボランティアで託児を紹介するなど、もっとお母さんたちが施設を利用できるような形をとればいいなと思う。

____委員 重要なことです。周知の方法なんですよ。今後に向けて対策などあれば。

執行機関 子育てルームという取組を 1 月くらいから始めている。月 1 回で和室を使用申請なくても使える形をとり、市民センターを出入りしていただきたいということから取組をしている。一度だけ小学校にチラシを配ってみた。やはり周知の期間が限られていたり、皆さんの予定となかなかすり合わなかったりした部分もあると思うが、十分な PR が伝わっていないような感じで利用される方がいない。継続しながら考えていきたい。もともとこちらを考えた理由は、水戸市全体で市民センターを利用した子育て広場というものを、どの市民センターでもできるようにと進められている。軌道に乗っている市民センターもあるが、上中妻の場合は幼児安全法学習会の PR として回覧板を回して、子育て施設わんぱーく、上中妻小学校、大塚ひのまる幼稚園など、全ての幼稚園・小学校ではないが、地理的に市民センターに来やすいかなと思

われる方の集まりそうな所や、内原の保健センターにチラシを置くことをしてみたが、チラシを見ての反応は少なかったというのが反省。回覧板以外の方法を今後考えていければと思う。これだけ市内に市民センターがあると、受取り側の方が、ここの場所にある市民センターという、イメージしやすい市民センターとそうでない市民センターがあるのかなと感じる。地元の方はよく分かっているけど、離れてしまうとイメージしにくいことがあるのかと思うので、上中妻自体も分かっているような対策も考えていく必要もあったのかなという反省がある。まず子育て事業としてはできること、ささやかなことだが、ここまで考えて進めてきた。(別添資料1)

議長 他に質問はないか諮り、異議なしの発言あり。(議長：決定の旨の宣言)

引き続き議題(3)について、執行機関に説明を求める。

執行機関 議題(3)の平成28年度上中妻市民センター事業計画(案)について説明する。

議題(3)平成28年度上中妻市民センター事業計画(案)について・・・の説明

- ・平成28年度案について、地域コミュニティ活動の支援にかかる事業と、生涯学習活動の推進にかかる事業に分け、また、4月から翌年3月まで毎月ごとに事業計画を示した。(資料8ページ)
- ・なお、平成27年度の実績と平成28年度が比較しやすいように、平成27年度実績もまとめた。(資料7ページ)
- ・定期講座のスポーツ吹矢教室が平成28年度からスポーツ吹矢クラブに組織替えをする。定期講座を実施するに当たり、クラブの皆さんにはサークルへの移行ということで、自主的な活動がある程度されていることもあり、上中妻市民センターの部屋に捉われることなくいろいろな場所で団体活動をしていただけるようなサークルに移行してはいいかかですかとうことを書面でアンケートしたが、現状維持を望む声が全てで平成28年度はクラブからサークルへの移行はなかった。
- ・これだけの教室・クラブ数があると部屋の確保が難しい状況になってきており、市民センターの事業を取り組んだり各種団体の部屋の予約を受ける場合も既に予約が入っていたり、水戸市の予定を入れるにも別のクラブが入っていたりして調整に頭を悩める状況。クラブをサークルに移行できないかを数年前から話しているが、決まった曜日でないと集まれない、他の市民センターも難しい、学習グループ自体が解散に追い込まれてしまうというようなお話をされるクラブもあるので強く強制ができない。定期講座は(教室からクラブ、そしてサークルへといった)そういう流れの中で開催しているものです、ということ折に触れて参加者に伝えて、サークルの話は初めて聞いたということがないようにしていきたい。
- ・昨年の反省に基づいて受付の方法を今年度変えた。募集定員が1名ないし2名の教室・クラブがある。昨年度は先着順だったので、時間を空けて何人も来て、お断りしている状況だった。昨年市民センターの部屋の貸出しも全市民センターで抽選方式に変えたという経過を踏まえ、定期講座も1名ないし2名のところを先着順にすると争いごとに近いようなこともあるかと思い、今回は地区の方に限定して抽選方式を採用ことにした。定員に達しなかった場合はその枠は残しておいて、一般的な募集で早くお越しになった方から受けるようにした。(別添資料2)

議長

質疑に入る旨を宣する。

委員

去年も話した時に、これだけ飽和状況のクラブがたくさんあって、大体月に2回使う形で今回申込人員を数えると延べ130名くらい。そのうち1～2名のところはあるが、去年話したのは、A市民センターなどはこういう状況にはなっていないと私は思っている。ですから、A市民センターの方に教室を移してもいいよとか、もっと余裕を持って、皆さんほとんど車なので、そんな話はできないのか。A市民センターは少なくともそんなに使っていないと思う。というのは、上中妻の方がB市民センターを使ったりしていると思う。当然上中妻にも他の地区の方が来て入ってやっている。それはそれでいいと思うが、たくさんこれだけあって、もう少し週に1回くらいはやりたいよねという話も教室によってはあると思う。A市民センターは空いているけどA市民センターはどうですかという話まではできないのか。特に卓球の3つ。一番上は試合に参加すると書いてある、他の2つの卓球クラブは健康増進。パソコンはABCで上級と初級が分かれているが、こういうのは市民センターとして卓球のABCでもいいじゃないですかと。卓球のAはA市民センターのホールを使ったらいいでしょう、空いているのですから、とかそういう話はできないのか。単純な質問なんです。

執行機関

大塚卓友会というクラブがある。大塚と付くので大塚の方ばかりかなと思ったが、地元の方は1人か2人くらいでほとんどの人が地区外の方。よく話を聞いてみたら、その成り立ちは大塚の方が始めたんだけどこの募集のとおり、1人入って2人入ってという入り方をして、代替わりされている。大塚で始めた方々は引退されて新しく入った方が地区外の方だったということになっている。上中妻市民センターの子育て講座はどうですかと言った時、壁みたいなものを持たれていると感じられるところがあり、それはどうしたら外れていくのかその辺りがよく分からず模索している。こういう所だよというイメージが希薄で、その一歩を踏み出せないところがあるのかなと。例えばC市民センターは新しい施設で綺麗だとなると誰でも行ってみたいねという話が出ているのかもしれないが、上中妻市民センター？A市民センター？となってしまったというのが、今回子育て講座をやってみての感想。ただ、ここに来た方からアンケートを取ったがマイナスイメージは持たれなかった。本音では分からない部分もあるが、ためになったとか良かったとか子どもを見てもらえて良かったとか。これを来ていない方にどのように伝えていったらいいのかということが課題として明確になってしまった。それを定期講座に当てはめた時にここだったら行ってもいいけど、ここなら嫌というように、上中妻市民センターで馴染んでしまうと、次の所へ行く一歩がなかなか踏み出せない。

委員

言っていることは分かります。私が言ったのは単純な話であって、市民センター間でそういう話し合っただけでやらないのですかということ。うち空いているから来ても大丈夫だよとかそういうのを、団体にもっと余裕を持って使えますよとか、A（市民センター）はちょっと遠すぎるよねとなれば、この辺なら済生会の前を歩いていけばすぐですよとか、そういう話し合っただけで必要な

じゃないかと思う。生涯学習をもっと水戸市としては構築していくという話になれば、もっともっと個別の市民センターだけの話合いじゃなくて、空いているところにどんどん送って行ってあげる、もっと充実させてあげる施策があったっていいのかなと思った。

___委員 申告のお手伝いをしているいろんな市民センターを回ってお仕事してきたが、市民センターによって独自。例えばC市民センターにしてもD市民センターにしても地域のコミュニティ力がすごく強くて、上中妻なんかは他を受け入れているすごく良心的な感じ。E市民センターで特に感じたが、他の人は受け入れません、Eの地域の下でいろんな活動をしていますというのがすごく見受けられる。センターにしても、掃除一つにしてもここはこんなふうにしてください、ここにごみは置かないでください、掃除の仕方はこんなふうになどピリピリしてセンターによって全然違ったイメージがある。今まで市民センターなんか歩いたことなかったの、どこに市民センターがあるのかも分からなかった。D市民センターは田んぼの真ん中で、おばちゃん、おじちゃんが強い。仕事していても怖かった。だから上中妻は優しいと感じた。だから、例えばA市民センターにしても近いからどうのこうのではなくて、地域力がすごく強いのだと思う。センター長がどうのこうのやり取りじゃなくて、まず地域の人が入り受け態勢がどうなのかなというのを感じたところがあった。そういう、簡単な問題じゃないのかなと思った。

___委員 分かります。でもあえてその辺のところを調整していかないと、部屋数も限られた中で生涯学習をもっと推進していこうといったって、受け皿がそもそもないので、そうなってきたら、市としてそういったやりくりをしないと進まない。

___委員 それは市民センター所長のコミュニティということですね。

___委員 Aのセンター長と、そっち空いているんだったらどうですかね、運営審議会の委員さんにもちょっと話してみても。結局は空けておいても無駄。公共施設は使ってもらわないと。そういう動きを是非してください。空いていけば使わせてくださいよっていうのはごく自然な話なのかなと思う。他市の施設を使うわけではないので。そういうことでもやらなかったら無理。1人か2人しか入れないんだから、他にもっとやりたい人がいたらかわいそう。多分やっている人はずっと続けてやっているのしょうから。

___委員 いつも同じ人が動いていることになる。

___委員 新たなニューフェイスの方ってなかなか入れない。いろいろ課題はあると思うが、いろいろな方面から検討していただきたい。

___議長 他に質問はないか諮り、異議なしの発言あり。(議長：決定の旨の宣言)

引き続き(4)について、執行機関に説明を求める。

執行機関 議題(4)のその他について説明する。

議題(4) その他・・・の説明

・番号30番からが前回の報告の後に明確になったところ。番号30番の避難所指定動員の任命、番号31番折りたたみ式応急給水器具の追加配備、番号32番シェイクアウト訓練が実施された。今後の予定として現在も進めているが、災害時要配慮者名簿の作成、配

備。希望する方を中心に名簿を作成しているところ。(資料 11 ページ)

- ・子育て広場は、今年度 10 か所の市民センターで行われている。この他に、くじらランドという子育て広場的なものがあり、第 1 子に限って小さなお子さんを対象にして月 1 回、上中妻市民センターでも行われていたが、平成 27 年度になる時に、市内数か所で行われていたものを統廃合して酒門と緑岡で実施しようということで、平成 27 年度に進められていた。平成 28 年度になり、緑岡市民センターで子育て広場を開催することになったので、くじらランドの会場を上中妻市民センターで引き受けてもらえないかという連絡があり、まだ子育て広場を開催していない、これから広く周知していきたいというところだったので、引き受けることにした。(別添資料 3)
- ・市民センターの利用年代別で見た時に、圧倒的に年配の方の利用が多いと思われる。これは平日利用できる方と考えると、現役世代ではなかなか難しいので、統計的にも少なくなるのは当たり前のことかもしれないが、子育て事業を進めていくと、水戸市全体の方向で出ているので、上中妻でもそれに向けての取組を進めていきたいと思っている。
- ・これが全てとは思わないが、家庭教育講座、小学生までの子どもとその親を対象とした事業、中学、高校、社会人に成りたての方でもいいが、活動曜日、仕事をしながらだと土日じゃないとなかなか市民センターを利用できないとかそういうこともあると思うが、その辺りに目を向けての活動が、全ての市民センター・公民館での弱い部分になっているのかなと思う。周知と PR の方法もあったが、どういったことを具体的にしていってら反応が出てくるのかというのを模索している段階。こういうことはどうか、若い世代はこういうことを考えているとか、その辺りの情報があれば参考に聞かせていただきたい。

____ 議長 質疑に入る旨を宣する。

____ 委員 今ここでなかなかこういうアイデアというのはすぐには出てこない部分があるので、気がついたら市民センターに連絡をしていただいて、お話を出していただければと思う。

他に質問はないか諮り、意見がないことを確認した後、質疑を打ち切り、閉会を宣する。